

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

地震・津波からどう避難するか 鈴ヶ森中学校で 第1回 ワークショップに230人参加

6月11日、区立鈴ヶ森中学校で第1回津波ワークショップが開かれました。津波の基礎知識や避難方法などをみんなで共通に知り、対策を考えることを目的にしたもので、230人もの方たちが参加しました。関心の高さを実感。当日の区の説明内容と参加者から出された質問などを紹介します。

	東京湾北部地震 M7.3	元禄型関東地震 M8.2
品川区の震度	6弱～6強	6強
最大津波高	海拔1.41m	海拔2.61m
最大到達時間	25分	2時間31分
火災による死者	520人	501人
建物倒壊による死者	252人	243人

4月18日に発表した東京

想定
東京都防災会議の新たな

の内容は、都防災会議の上の表のとおりです。津波高は2.6mとあり元禄型は到達時間が2時間半と想定されています。結構避難できると考えられますが、はたしてそれで安心してきるものはありません。あくまで「想定」で、しっかりと対策

を考えると、勝島運河周辺などの防潮堤は3.5mですが、安心できるものではないですね。津波の力は予想以上に強く、50cmで立っていらなくなりかなり危険です。ワークショップで津波の実験の映像を見ましたが、1m幅で津波をつくると人は押し流されました。ロープで危険を回避してありましたが、どんどん流されているという映像でした。

区は、第2回定例会で補正予算を打ち出しましたが、その中に、「津波・高潮対策」として「首都直下型地震等被害想定対策検討委託」1100万円を計上しました。防潮堤について詳細を検討すると説明しています。

あらためて考えると、南大井・東大井地域は海拔が低く、2.6mの津波でも内陸にどんどん入ってきますから、本当に怖い状況です。一刻も早い対

策が求められます。

自助の強調は止め 自治体責任の認識こそ

死者数も火災と建物倒壊で700人を超えます。

かつて、革新都政でつくった『震災対策予防条例』では、「地震は自然現象であるが、地震による災害の多くは人災である。したがって、人間の英知と技術と努力により、地震による災害を未然に防止し、災害を最小限に食い止めることが出来る。」と予防を高らかにうたっていました。この予防を大事にすることが何よりも重要です。

ところが、区は災害にはまらず「自助」だと強調します。自助はいわれなくても当然。区は自助を強調するのではなく自治体としてやるべきこと

をしつかり打ち出し取り組むべきです。

活発に質問・意見続出

質問タイムで出された意見や質問を紹介します。

Q「地震により建物倒壊するので遠くに逃げられないと思う。津波だけの説明だが、地震や火災も含んで考えるべきではないか」 A「マップをつくる時その情報も出したい」

Q「防災無線が聞き取れない。災害によつて音を変えたらどうか」 A「水害はサイレンを鳴らしている。無線は聞き取りにくいのでラジオを提供したい」

Q「避難の時、路地がいいのか広い道がいいのか」 A「広い道は津波の通り道になるかも・・・」

Q「水族館に近いマンション

にいるが液状化の心配は・・・。避難所はどこか」 A「液状化地図は検討しているので提供したい」

Q「津波の避難で区がマンションにお願いしてくれるのか。オートロックが多いが、鈴中が避難所だがどうなるのか」 A「避難ビルは区が取りまとめた。避難所は津波を想定しているのではないので、自分で避難を考えてもらいたい」

Q「高台に逃げるにはJRで閉鎖されている。その耐震性は」 A「今後の課題だ」

Q「要援護者の問題はどうか」 A「本災害の時に名簿を出す」
などです。区議会の震災対策特別委員会の責任も重大です。委員長として頑張ります。

一枚のハガキ

新藤兼人
監督映画

「戦争ですべてを失った男と女を巡り合わせたのは一枚のはがきだった。」

上映日 8月3日(金)

会場 きゅりあん小ホール

前売券 一般1000円 中・高生800円

先週号で紹介したみどりの丘保育園の住所は、西大井4丁目19番地でした。

生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523